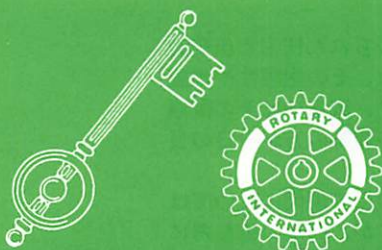


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 菊池昭元

No. 41 (1985~86)

あなたが 鍵です
You are the Key

1985~86年度

RI会長 エドワード F. カドマン

第186回例会 昭和61年4月22日 (火) 曇

◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 57(56)名 出席 35名
出席率 62.50%
前回 4月15日 (修正出席率) 100%

◇ビジター紹介

小豆島 R C 武部吉次君 他6名

◇お誕生日祝福

永井君(4/10)、永井夫人(4/16)、谷口君(4/28)、竹内夫人、寺澤夫人(4/27)、菅原君(5/4)

◇ニコボックス

永井 正義君 ホームクラブ御無沙汰致しました。お誕生日祝い。夫人お誕生日祝い。

林 淳三君 ホームクラブ御無沙汰致しました。

鷺野 義明君 一年間を過ごさせて頂きました。先週、ホームクラブ欠席しました。

西村 禎二君 先回の麻雀大会で優勝させて頂き、有り難うございました。

鈴木 正男君 申し訳ありませんが、本日早退させて頂きます。

竹内 真三君、寺澤 竹三郎君 夫人お誕生日祝い。

谷口 暢宏君、菅原 宣彦君 お誕生日祝い。

杉山 貞勇君、黒野 貞夫君、矢野 勝久君、

加藤 大豊君 松居 敬二君 結婚記念日祝い。

◇宮尾幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。

◇菊池会長挨拶

野や山へは山菜狩りに、海には潮干狩りと実益を兼ねた好菜の季節がやって参りました。食べる物にも旬がなくなったと言われる昨今ではありますが、海のものでは鯉の季節となり、

「目に青葉、山ほととぎす初かつを」とは今頃の事でありましょう。太平洋沖から黒潮が北上すると海は青く澄み、この青い海に海辺の山々の青葉若葉が海面に美しく映ります。この事を「青葉潮」と言い、初鯉はこの「青葉潮」にやって来るのであります。そして山では春を思わせる物に、竹の筍がありましょう。生産地は福岡、鹿児島、熊本と九州が上位で、徳島、京都、愛媛、静岡、千葉、島根、岡山と続き、中でも京都産は色が白くて軟かく、質の点で最高。「朝掘り」を素早く茹で厚い輪切りにし、鯉節と昆布でじっくり煮ふくめ、山椒の若芽を添えたものが最高の味とプロは言います。筍は1晩に50米、伸び盛りには1日に120米も伸び、僅か数ヶ月で親となります。今年の新しい竹は来年には地下茎を育て、2年続けて筍を生み、その後は1年置きにしか筍を生みません。従って竹林の半分が筍を生み、半分が休んで居るのです。そして8年目には之以上育ててもいい筍が生れない為、その親竹は切り倒してしまいます。筍はなぜ「生まれる」と表現するのか。生産者は夏に肥料をやり乍ら8年目の竹を切り、11月から2月にかけては土を軟らかくし、腐葉土の肥料とする為に藁や草を敷きつめる土造りで総てが決まると言われます。この様に年間を通じ努力して育てる結果が故に「生れる」と表現し、生えると言うのは野生の物だからそうです。話しは変わりますが、4月18日は「発明の日」。吾が国特許の第1号は錆止め塗料で、明治18年4月18日に初の専売特許条例が公布され、「発明の日」は之を記念して昭和29年に制定されたものです。記録では条例施行後、10日間で59件の出願があり、この熱は今日迄受け継がれ、最近の特許庁へは年間28万件以上の出願があり、世界中の特許出願の40%強にもあたると言う事です。100年の歴史には時代が織

り込まれ、戦争中の木や竹の蓄音機針、木炭車、戦後の特許ブーム、現在の先端技術をめぐる国際間の特許戦争等々いろいろとあります。余談になりますが、喜劇役者の故柳家金語楼さんの取った特許は実に50件を超え、ハイヒールのかかるとに電池、つま先に豆電球を入れた「暗い夜道を楽しく歩く靴」や、内側にお茶の葉を入れるポケット付の「ワンタッチ湯呑み」などユニークなものでしたが、売れた物は一つもありませんでした。しかし常に楽屋で出番の合い間に考え続けては「今度は楽をさせてやるから」と絶えず一獲千金を夢見ていたと言う事です。之も発明であり、特許の持つ不思議な魔力のなす業と言えましょう。考える人があるからこそ今日の文明社会が益々進歩して行くのであり、考えた人の努力に応えるものが、特許制度でありましょう。いろいろの日がありますが、今日は発明の日を取り上げて見ました。

◇ 講演

“私の職業について”

会員

魚津 常義 君



名古屋千種ロータリークラブに入会させて戴きまして以来、まだ日の浅い私は勝手が判らず、種々、御迷惑をお掛け致して居る事と思ひます。大変至りません未熟

者で御座居ますが、宜しく御願ひ致します。
 本日は「私の職業」という事で御話しさせて戴く機会を戴き、有り難うございます。私共は寺社建築が本業でございますが、本日は特に皆様に関係ある木造住宅について御話しをしたいと思います。
 伝統的和風木造住宅と現代の住宅の相違点については、最近、TV等でよく出て参ります様に、火災に依る焼死者、一酸化中毒、カビ等の問題に関し、伝統的和風住宅はこれらの点についてよく考えられている様に思ひます。又、以前、豊田の洞泉で古い大黒柱の有ります木造庫裡を取り壊しの際、大変手間取り、その建物の持つ強さに本当に驚いた事が御座居ます。それ以来、機会有る毎に大黒柱と太い梁の有る農家によく見られる古い民家等を調査致しますが、とても耐震性に優れ、又、先に申しました様な住心地のよさ、所、現代建築の持つ欠点については、全てクリアして有る事が判って参りました。
 「古きを訪ねて、新しきを知る」という諺が御座居ますが、少しでも御先祖様が色々な災害に逢い、その都度改良を重ねて造られて参りました伝統的和風住宅の中から、現代の我

々は、その智恵を学び取るべきではないでしょうか。

現代の建築基準法に定められた住宅と伝統的和風建築との一番の違いは、その耐震性や地震の際のエネルギーの吸収性、或るいはその復原力に於いて、やはり従来の建築の方が一日の長が有る様に感じられます。

種々経済性、又は技術の点で現代に於いては無理な点多々御座いますが、何かの御参考になりましたら幸と存じます。

◇ 4 月度理事役員会議議

1. 新入会員候補者承認の件
2. 1986～87年度委員会委員変更の件
3. 古川勝巳君 病欠欠席の件

成功の確固たる基盤

ロータリアンは、実業や専門職業の仲間と、毎日交流することによって、奉仕の理想というものが、仕事のうえでの、成功をもたらす真に確固たる基盤になりうることを、顧客や依頼人、仕入れ先、同業者、そして、同僚などにしめす機会をあたえられることとなります。

— R B L 職業奉仕(第3巻)

自然のくし

経験とは、髪の毛の薄くなったとき、自然が与えるくしのようなものであります。

— ベルギーの諺

(情報抄録より)

◇ 例会変更のお知らせ

- 名古屋瑞穂 R C 5 / 8 (木) 夜間例会の為、浜名湖館山寺温泉にて 18:00 より
- 名古屋名東 R C 5 / 13 (火) 職場例会の為、日本たばこ産業(株)名古屋工場にて 12:30 より
- 名古屋和合 R C 5 / 14 (水) 春の家族会の為、5 / 17 (土) ホテルナゴヤキャッスルにて 17:30 より
- 名古屋東南 R C 5 / 15 (木) 「職場例会」の為、鈴秀工業(株)にて 12:30 より

◇ 住所変更のお知らせ

- 会員 小林 明 君
- 事業所 名古屋市名東区香流 2-1112
 〒465
 八雲設備工業株式会社
- 自宅 名古屋市名東区赤松台 207
 〒465

◇ 次回例会 (5月6日)

クラブフォーラムの為、講演はございません。